

援助要求スキル

兵庫県立芦屋特別支援学校

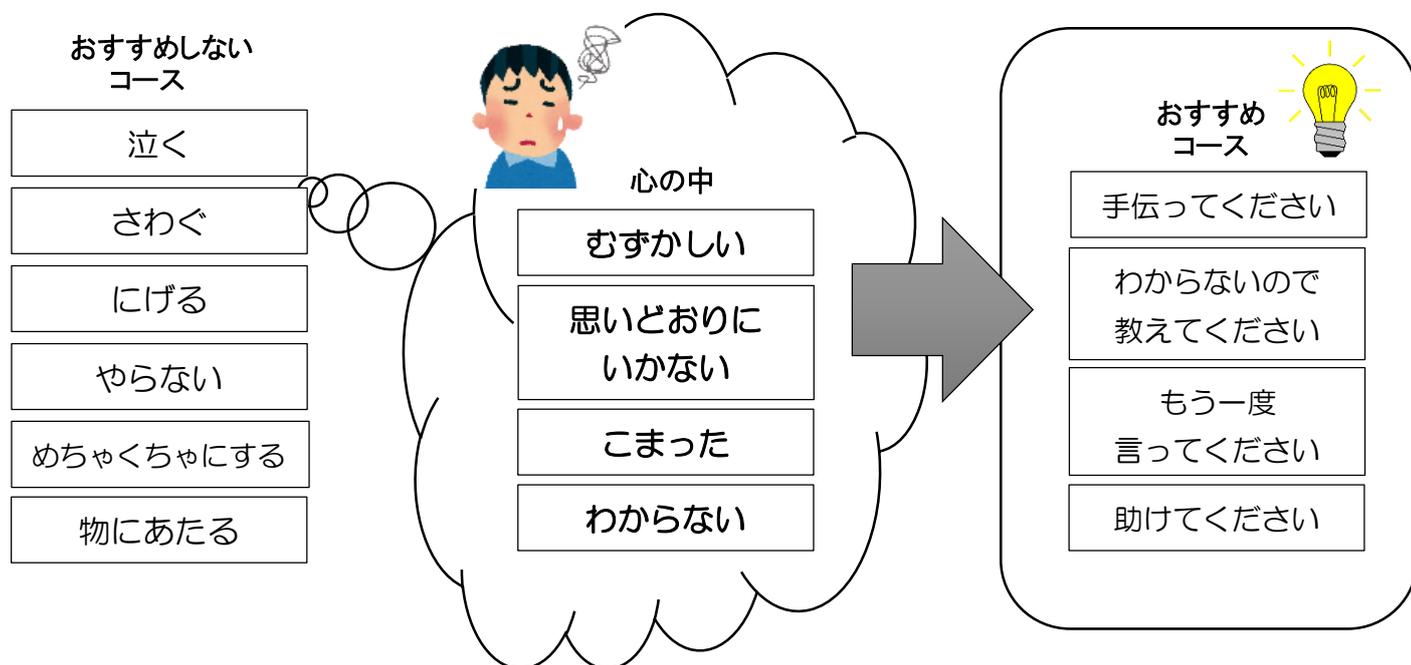
平成30年12月12日(水)

地支セン通信 No.15

今使っているスキルは・・・？

難しい、困った、わからないと感じる場面で、「難しくて自分ひとりじゃちょっと無理かも・・・」「困っているから助けてほしい。」「わからないから手伝ってほしい。」、こんな風にいうことができるのもっと楽しく過ごせる時間が増えるのですが、うまく言えない子ほど人に頼ることが苦手です。

援助要求スキル 援助要求スキルの弱さに気づき、援助要求スキルを育てるという発想の転換が必要



「こういうときは相談すればいいんだよ」という人生訓的な言い聞かせ指導だけでは子どもの行動はあまり変わらない。なぜでしょう？

「できなくて悔しい。」「できる人はいいな～。」「うまくいなくて嫌だ。」「失敗ばかりでしんどい。」などの悲観的・否定的な感情の“命名”ができていないから。

おすすめしないコースの行動が出る瞬間に、「悔しいね(嫌だね)(しんどいね)。一緒にやろうか。」「うらやましいね。みんなに教えてもらおうか。」と言った言葉をかけてあげることで、自分の感情を整理することができる。そして、その感情に命名することができ、他者へ相談に向かう気持ちを育てることにつながる。

※言い聞かせだけでは知識として蓄積されるだけで、「スキル＝技能、技術」として獲得できません。スキルは成功回数を重ねて使えるようになります。スキルとして使えるようになるまで、成功体験を経験していく必要があります。